

## 平成 26 年度 第 6 学年 図画工作科

### ・教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

### ・学年の目標

- 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。
- 親しみのある作品などから、そのよさや美しさなどを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。

### ・本校では

- 楽しくかいたりつくったりすること、見ることに関心をもてるように日頃の生活の中でなるべく多くの機会をとらえてかく、つくる、見る活動をさせます。

### ・評価について

★6年生の図画工作科は次のようなことをみて評価をします。

自分の思いをもち、進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わおうとしている。

感じたことや材料などを基に、表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。

感覚や経験を生かしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。

作品などの形や色などから、表現の面白さをとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりしている。

★次のような方法を組み合わせて評価していきます。

- ・学習への意欲や関心
- ・作品
- ・授業中の態度、発言
- ・鑑賞カード
- ・構想、下書きなどのメモ など

### ・保護者の方へのお願い

- 6年生では材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに創造表現の能力、デザインや創造的に工作の能力を高めるために材料を再利用して立派な作品となって生きることを児童に学んでほしいと願っています。
- 学校では、水彩絵の具を使った後のパレットや水入れは、洗いません。持ち帰ったときに、忘れないように洗って乾かすようにさせていただきます。
- 図画工作科の作品をつくったり鑑賞したりする力は、日ごろからの絵や造形に親しむ生活や手先の器用さによっても大きく変わってきます。平素から、自由なものをつくったりかいたり、つくったものを利用して、生活に生かしたり、また美しいものに感動する機会を多くつくってください。
- 前もってお知らせするつもりですが、材料集めなどに協力をお願いします。

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	身近な環境で ※自然とともに ※いろいろな材料で	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場所を、そこにある自然の材料を使っていつもとは違う場所につくり変え、変化の様子を楽しみ、喜びを味わう。</li> </ul>
5	心にうかぶ夢の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>行ってみたいと思う夢の世界を自由に想像し、画面構成を考えたり、材料・用具を工夫したりしながら絵に表す。</li> </ul>
6	墨から感じる形や色	<ul style="list-style-type: none"> <li>墨と水でできる形や色を試したり、特徴を生かしたりしながら、心地よい調和やリズム感のある絵に表す。</li> </ul>
7	味わってみよう、日本の美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に込められた願いや思いを感じる。</li> <li>現代美術と伝統美術のちがいについて感じる。</li> <li>名画を鑑賞しながら、画家の見た世界を感じる。</li> </ul>
9	どんな動きをするのかな	<ul style="list-style-type: none"> <li>動く仕組みを理解し、その動きを生かした楽しい作品を計画的につくる。</li> </ul>
10	※はり金のクランクで ※カムを使って	
11	表し方をくふうして	<ul style="list-style-type: none"> <li>視点や表現方法をくふうして、大切に思う風景を絵に表す。</li> </ul>
12	かたまった形	<ul style="list-style-type: none"> <li>液体粘土で固まった布の形から、つくりたいものを構想し、作り方を工夫して表す。</li> </ul>
1	光のハーモニー ※カラフルボトル ※ファンタジーワールド	<ul style="list-style-type: none"> <li>光の効果や美しさを考えながら、空間の表し方を工夫し造形遊びをする。</li> </ul>
2	板から何が	<ul style="list-style-type: none"> <li>板材の木取りや接合の方法を工夫して、生活の中で長く使えるものをつくる。</li> </ul>
3	12年後のわたし	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の自分を想像し、その内容がわかるように場面を工夫して立体に表す。</li> </ul>

※は題材を選択する内容です。